

学校関係者評価 平成31（令和元）年度 総評

学校法人小倉学園 専門学校東京自動車大学校 学校関係者評価委員会は、自己評価報告書査読、学校校舎・施設・設備の見学、並びに学校自己評価委員からの報告を受け、当学校が国土交通省第一種自動車整備士養成施設、ならびに文部科学省職業実践専門課程の要件を満たし、適切に運用されている学校法人であると判断した。

各評価項目ごとの総評は以下の通りである。

§ I 学校の教育目標

目標・教育理念等に関し、学校案内パンフレットやホームページを通じて学校外に向けたメッセージ発信を行うとともに、入学生・在校生に対しても「学生便覧」の理事長の言葉、校長の言葉を通じ周知が図られている。

「明るく楽しく学ぶ」ことの具体的実践として自動車・バイクに係るクラブ活動やサーキット授業の開催などが開催されている点は評価できる。

§ II 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

各項目について真摯に取り組んでいるが、退学率減少についてはさらなる方策を講じて一層の減少削減に努めることが教育・経営の両面から望まれる。入学定員確保については学校の魅力の積極的発信が功を奏しているとみられ、対前年比で微増ではあるが増員を図れている。教員の小型1級自動車整備士資格取得は相互学習の時間を設けるなど取り組みは評価できるが合格実績値としての結果向上が望まれるところである。

§ III 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・目標

専門技術教育に加え社会人として「生きる力」に着眼した教育を実践しようとする姿勢は、自己評価において適切であるとの評価を付してはいるが、取り組みとして評価できるものであり、今後も継続すべき活動と思われる。また学習成果項目の評価にも関連するが、輩出した学生が社会で真に生きる力を身につけられたかを把握するための卒業生動向調査の実施が望まれるものである。カリキュラム編成上の制約が多い中で新技術や就職先での要望が高い電気関係の教育充実を図っている点も評価できる。

2. 学校運営

前年度自己評価においてやや不適切と評価した項目はほぼ適切と評価の向上がみられることは評価できるが、情報システム化などによる業務の効率化については教員用端末機の入替えを行った以外、残念ながら昨年度から評価の向上がみられない。昨今のビジネスの改善スピードに遅れないよう電子化・システム化については目標として掲げた以上迅速な成果が求められる。

3. 教育活動

自己評価において授業評価、(教員の)人材育成、業界との連携における教員人財の確保項目が「ほぼ適切」ととどまっている。原因については正しく自己分析されてい

るので改善のための具体的方策を立案・実施するための組織体制整備などに着手されたい。

ディーラー就職後に実践作業として役立つであろう「洗車」「樹脂ヘッドライトカバーのクリア復旧」などを授業内容に取り組んでいることは実践的な授業の実施という意味で評価できる。

4. 学習成果

退学率低減・資格取得率向上は本校のみならず専門学校共通の課題と思われる。グループとして他業種の専門学校も有していることを強みとして学校間で対策情報交換・問題の共有化を図ることなどは検討に値するのではないか？

教育理念・目標の項でもふれたとおり、卒業生の就職先企業での活躍状況や定着率把握などについても積極的取り組みを期待するものである。

5. 学生支援

進路・就職への支援、学生相談に対する体制、保護者との連携については自己評価の評価「適切である」を超え、高いレベルで実行されていると評価できる。

半面、絶対的な校地校舎面積などの問題もあるが、自己評価にもあるように保健室や休憩場所の整備など福利厚生関係の施設面の充実が望まれる。

6. 教育環境

学内の消火器設置表示について、ガソリンなどの引火性の強い危険物を扱う施設などで視認性工場などの対策を図られたい。

7. 学生の受け入れ募集

特に指摘すべき事項はないが、自己評価にある通り、体系の分かりやすさについては検討改善の余地があると考えられる。

8. 財務

財務に関し特に指摘すべき事項はない。

9. 法令等の遵守

自己評価結果について委員のみにとどまらず、全教職員への情報共有と改善に向け、学校組織としての取り組み体制を整られるよう進言する。

10. 社会貢献・地域貢献

近隣高校へのエンカレッジ、小中学校への上級学校体験やキャリア教育授業の受け入れ、NPO 法人との協業によるキッズスクールなど学校関係への貢献活動が評価される。一方地域法人住民としての存在のアピールは学園祭などの一部行事を除けば薄いように感じられる。

11. 国際交流

留学生の増加に伴い、日本語力向上に向けた独自授業の増設など適切な対応が評価できる。海外研修の訪問先選定に関しても自動車メーカ工場・ミュージアム訪問など自動車整備専門学校として適切な設定を行い、独自性をアピールしている点も同様に評価される。

以上、専門学校東京自動車大学校関係者評価の総評とする。